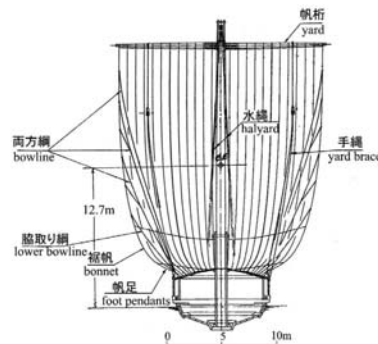


新年特別講演会・懇親会のご案内

大阪市の海洋博物館：なにわの海の時空館に展示されている菱垣廻船「浪華丸」は、大阪市の莫大な支援と多くの人々の尽力により、くわしい時代考証を経て、当時の材料や工法などを検証しながら、実物大で復元されました。しかし、現在、財政的な面から存続の危機に直面しています。平成25年の新年特別講演会は、菱垣廻船「浪華丸」を復元した意義をみつめなおすために、「菱垣廻船復元の歴史的考証」と題して、東京大学名誉教授で海事史学会会長の安達裕之氏にご講演いただきます。講演会の後には懇親会も予定しておりますので、多数のご参加をいただきますようご案内申し上げます。



記

日時：特別講演会 平成25年1月25日（金）15:40～17:10
懇親会 平成25年1月25日（金）17:30～19:30
会場：神戸クリスタルタワー3階クリスタルホール
（住所）神戸市中央区東川崎1丁目1-3（JR神戸駅海側すぐ）
（連絡先）080-6135-0996（当日のみ有効）

*特別講演会、懇親会共に本会場にて開催いたします

参加費：講演会 無料、 懇親会 一般5,000円、家族・学生2,000円

講演概要

題目：菱垣廻船復元の歴史的考証

講師：安達 裕之 氏（東京大学名誉教授、海事史学会会長）

<概要>

大阪市は、なにわの海の時空館の目玉展示物として数ある弁才船の中から大阪と縁の深い菱垣廻船を選び、実物大で復元して、浪華丸と命名した。菱垣廻船は木綿・油・紙・薬種など日用雑貨品を大阪から江戸に積下した菱垣廻船問屋仕立の廻船をいい、その名は垣立下部の菱組の格子に由来する。弁才船は記録に登場する16世紀初頭から姿を消す20世紀前期まで4世紀にわたって国内海運の廻船として活躍したが、実船は1艘も残っていない。そうした船をどのようにすれば復元できるのか、浪華丸を例にとってお話したい。

申込締切：平成25年1月18日（金）

お問い合わせ先

日本船舶海洋工学会関西支部事務局

TEL：06-6879-7593 FAX 06-6879-7594 携帯：080-6135-0996（1/25のみ有効）

E-mail：k.office@jasnaoe.or.jp

以上